



# Pro check

ファクト情報活用サービス

# Pro check



**Trust check**

-トラストチェック

**Safety check**

-セーフティチェック

**Negative check**

-ネガティブチェック

**Risk check**

-リスクチェック

**Conflict check**

-コンフリクトチェック



# Safety check



セーフティチェック

取引や雇用を継続していても大丈夫？これまでの安心を再確認する為に実施するプロセスです。

## 【対象】

継続的取引先、登用社員、異動後の社員、管理職(適正)、子会社・下請等

# 続く、あんしん。

---

職場などで年に1回健康診断をされる方はたくさんいらっしゃると思います。

健康診断は悪いところの早期発見や健康を確認して安心するために受けている方が殆どではないでしょうか？

しかし、お取引先や社員に対して健康診断のように定期的にチェックをされている企業は、まだまだ少ないようです。

安心な状態を維持・継続していくには些細な変化にもいち早く敏感に気づき、良くない症状を確認したらその都度、軌道修正をしていることが重要です。

安心を続ける為に「セーフティチェック」の定期活用をご検討ください。



---

# Safety check



# あんしんの視点。

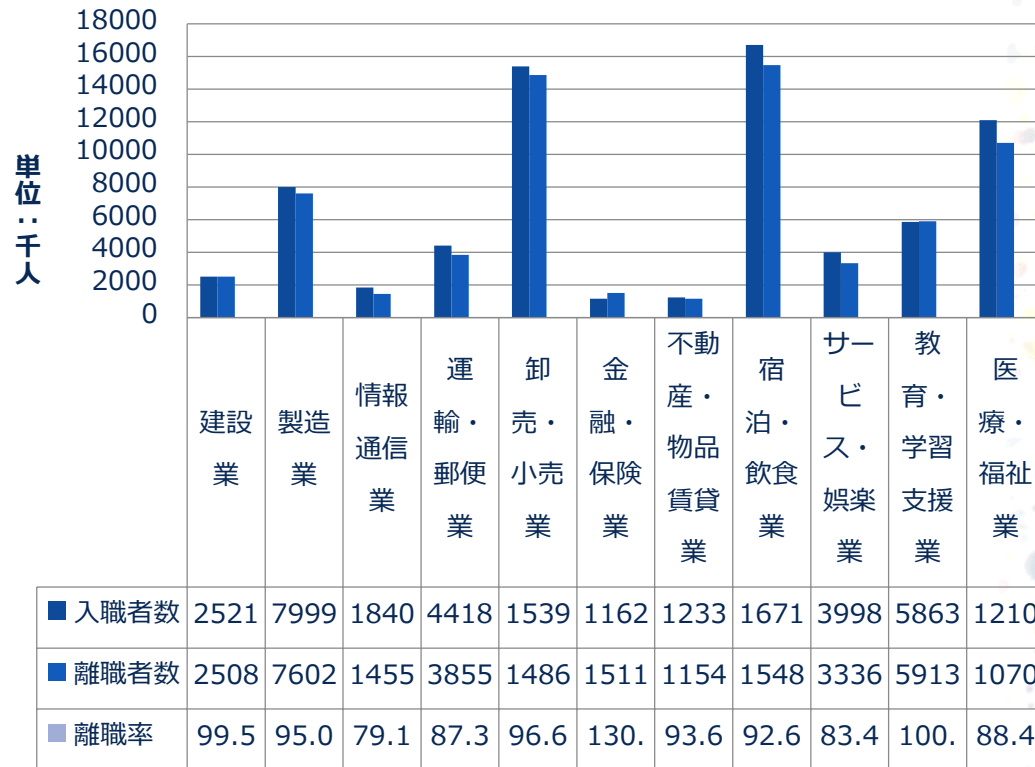
右のグラフは厚労省の令和元年雇用動向調査です。離職率は79.1～130%超という驚きの結果となりました。「前職を辞めた理由別割合」では、「会社に失望若しくは期待が持てない」が約半数を占めました。

企業の安定的な生産力維持には社員の定着が欠かせません。しかし、社員が不満を蓄積させ、失望に至る前の、小さな不満の種に気付かなければ、離職を止めることはできません。

セーフティチェックでは、このような些細な予兆をも見逃さない「あんしんの視点」をご提供させていただきます。

また、社内だけにとどまらず、お取引相手様の動向についても同様の視点から対応が可能です。

(令和元年)産業別入職者・離職者数



## Safety check

# 飛躍。


昨今の「飛躍」のスタイルは、完璧な製品やサービスの提供ではなく、プラットフォームに代表されるように、複数社のテクノロジーを融合し、新たな発想のもと消費者に便利なサービス提供をするといった「仕組み作りのプロ」が成功を収める事例が後を絶ちません。

しかし、社会構造が大きく変化しても変わらないのは「飛躍」するための準備です。

発想の種は自社や個人の努力で育てることができますが「飛躍」を阻害する要因は、可視化が難しいことから定期的な安全確認が必要です。

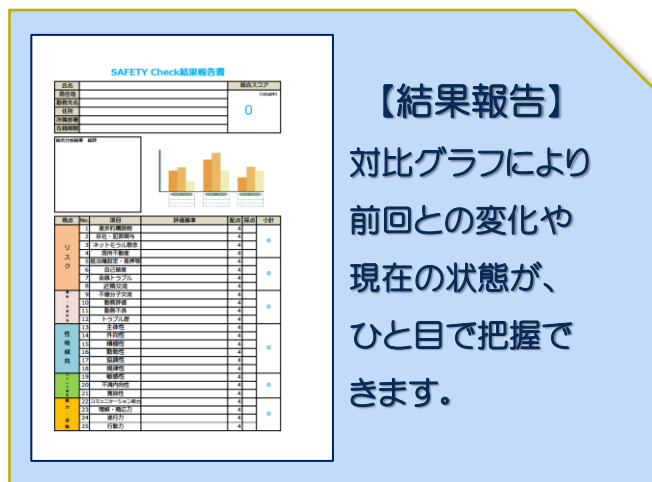
これは新型コロナウイルス蔓延の背景で脅威の度合いを知る為に行うPCR検査と同様です。

「飛躍」の準備として、いつでも健康体であるために「セーフティチェック」の導入をご検討ください。



飛躍

Safety check  
定期健診



**【結果報告】**  
対比グラフにより  
前回との変化や  
現在の状態が、  
ひと目で把握  
できます。

項目	項目	評価基準	数値	割合	評価
リスク	1 経営戦略	20	20	100%	+
	2 経営体制	20	20	100%	+
	3 経営方針	20	20	100%	+
	4 経営戦略	20	20	100%	+
リスク	5 経営体制	20	20	100%	+
	6 経営方針	20	20	100%	+
	7 経営戦略	20	20	100%	+
	8 経営体制	20	20	100%	+
リスク	9 経営方針	20	20	100%	+
	10 経営戦略	20	20	100%	+
	11 経営体制	20	20	100%	+
	12 経営方針	20	20	100%	+
リスク	13 経営戦略	20	20	100%	+
	14 経営体制	20	20	100%	+
	15 経営方針	20	20	100%	+
	16 経営戦略	20	20	100%	+
リスク	17 経営体制	20	20	100%	+
	18 経営方針	20	20	100%	+
	19 経営戦略	20	20	100%	+
	20 経営体制	20	20	100%	+

# Safety check

# Case I 下請業者。

創業20年超になるファースト社は、複数の顧客企業から受注した業務を6社の協力会社(下請企業)に再発注して進めていくことを常としていた。ある日ファースト社が受注した業務を通常通り協力会社の1つセカンド社に発注したところ、自社で受注した業務で今回は受注が難しいとの回答を受けた。これまでセカンド社は自社の営業は全く行っておらず売上の100%がファースト社からの受注であった。

ファースト社は繁忙の中にあつた為、セカンド社が受注できない期間について問合せたところ「当面見通しは立たない」との返答で一時的な業務と想定していたファースト社は意外な返答に戸惑うと共にセカンド社に対して「うち(ファースト社)と同様の取引先を見つけたのか」と尋ねてみた。セカンド社は明確な回答をせず言葉を濁すような対応だったことから、念の為に協力会社の管理体制について安全性を確認することを目的に調査を実施することに…。

結果はファースト社の顧客企業の下請会社とファースト社からの受注業務を行っている過程で知り合い、新たな事業展開を始めていたことが判明した。この事業展開自体に問題はない。しかし将来的に顧客先企業に対しても直接取引を持ちかけるなど同様の動きをする懸念が浮上したことから、協力会社との契約関係を見直し管理体制を一新することができた。

※ 協力会社との間で直接取引の禁止事項などを盛り込んだ契約を締結して阻害要因の排除に成功した。



## Safety check



# Case II 執行役員。

とある上場企業で執行役員を務める宇田氏。勤続25年を超え長年の功績が認められて数年前に登用された。会社側は立場が変わっても特に問題なく職務を果たしているものと信じていた。ところが数か月前より、宇田氏直属の部下から「連絡がとれない」「社内のどこにいるかわからない」などの声が届くようになった。宇田氏は役員になり一般社員の様な労働条件の縛りや就業規則が適用されないものの役員会をはじめとする会議の席を一度も欠席したことはないことから、たまたま連絡がとれない状態が続いただけであろうと考えたが、念の為に職務の執行状況を確認してみようということになり、一般社員の就業時間帯すべて行動について調査を実施した。

その結果、宇田氏は会議の他は殆ど自宅若しくは自宅周辺でプライベートの時間を過ごしていた。

会議の日も開始1時間前には出社はするものの会議が終わると間もなく退社するという有様であった。

また社外での行動についても役員として職務を執行している様子は一切認められなかった。

※宇田氏は後日役員を辞任し依願退職した。



## Safety check



# Safety checkの概要

商品名	Safety check (セーフティチェック)
商品の内容	継続的な取引先・登用・異動後の社員に対してあんしんを確認するために実施する調査
サービス内容	基本現状確認、内偵調査(各種情報収集)、取材・聴込み、行動監視、張込撮影、その他内偵、報告書作成
商品サイズ	A4・30~50ページ程度
使用機器	デジタルカメラ・ビデオカメラ・ボイスレコーダー・その他
納期	原則調査終了後、調査実施日数期間以内のご報告
オプションサービス	接触者・交友関係者に対する調査(1時間単位) 指定場所張込(1時間単位) 指定場所撮影(1時間単位) その他お客様のニーズに合わせた対応を行います。(別途お見積)

## 【費用の詳細】

基本現状確認	¥100,000- (消費税別) ※8時間の行動監視含む
内偵調査/1件	¥30,000-~ (消費税別)
取材・聴込み/1件	¥30,000- (消費税別)
張込撮影/1時間	¥15,000- (消費税別)
その他内偵	別途お見積
報告書作成	無料(1部)

※交通費・燃料費・宿泊費などの経費実費は、別途加算されます。

# Safety check